

市政ニュース

国内外で豊岡の認知度アップ！
eオ光チャンネルでの紹介と台湾メディア取材来訪

eオ光チャンネルでの豊岡紹介番組放映

eオ光チャンネルの番組「街角トレジャーハンター」で豊岡市が紹介されました。

これは、トレジャーハンター(レポーター)が、関西各地を訪ね、そのまちならではの取組み、そこに暮らす方、自慢のスポットなど、そのまちが誇る「宝物」を探し歩くというものです。

放映は、8月16日から31日まででしたが、eオ光テレビに加入していない方も、インターネットで視聴できます。
〈ネット配信〉
<http://eonet.jp/eohikari-ch/machikado/>

台湾のメディアが取材に来訪

8月30日と31日の2日間、関西広域機構のメディア招致事業で、台湾から旅行雑誌の編集者と旅行コラムニストの2人が取材に来訪しました。



▲豊岡かぼんの制作を取材

市では、城崎温泉まちなみ散策と旅館、カバンストリート、県立コウノトリの郷公園や城下町出石などを案内しました。訪日外国人旅行者数を国別に見ると、台湾は、韓国に次ぐ第2位で、年間100万人を超える方が日本を訪れています。台湾の旅行者から見て、日本は人気の観光地のように見えます。今回の取材をきっかけに「豊岡市」というまちの存在を知っていただき、台湾からより多くの方が本市を訪れることを期待しています。

1日1,000円で、城崎温泉に入り放題！ 「城崎温泉外湯めぐり券」の発行

城崎温泉の外湯めぐりを楽しめる1日入浴券「1日ぐるっと、入り放題 城崎温泉外湯めぐり券」ができました。これは、開館している城崎温泉の外湯を、1日に限り何度でも利用できるというものです。城崎温泉の7つの外湯を全館利用すると、4,600円

子どもたちの健全育成を目指して！ 幼児期における「運動遊び」事業の効果検証スタート

市では、子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指し、幼児期における「運動遊び」事業を推進しています。

今年度は、保護者の同意や関係機関の協力のもと、筑波大学博士特別研究員の柳澤弘樹さんと市が共同して、幼児期における運動支援の効果の検証を行います。そこで、次の遊びによる調査を始めました。

○「色塗り遊び」による検証
市内7保育園・7幼稚園で、運動する前後に注意力、集中力や持続力を調査しました。



▲色塗り遊びに集中

○「ゴム球握り遊び」による検証
市内1保育園・1幼稚園で、理解力や判断力などを調査しました。これらの遊びを通じた調査を今後も実施し、運動遊び事業の効果を検証します。

主な市政の動き

- 8月
- 20日 佐渡・豊岡生きもの調査交流会2010
- 21日 新庁舎建設に伴う市役所本庁部署第一陣移転(22日、第2陣：28～29日)
- 22日 豊岡消防団夏季訓練
- 25日 豊岡市地域公共交通会議
- 27日 モンゴル友好訪問使節団報告会
- 29日 豊岡市環境審議会
- 30日 第31回兵庫神鍋高原マラソン全国大会
- 30日 豊岡市国際交流体験学習使節団(韓国慶州市東川初等学校訪問)報告会
- 9月
- 3日 市議会定例会開会(30日)
- 5日・マイナス1歳(産前)からの子育て支援事業「ママ・ティイママ&ベビーフェスティバル
- 6日 日高消防団消防操法大会
- 6日 県立高等学校の入学者選抜に関する要望

未来につなぐ 人と自然の共生

「佐渡・豊岡生きもの調査交流会2010」開催

8月20日、出石町奥小野区で佐渡・豊岡生きもの調査交流会2010を開催しました。

これは、トキとコウノトリの野生復帰の将来を担う子どもたちに、自然と生きものへの命への共感を育てるために行ったものです。

佐渡市からは、佐渡Kids生きもの調査隊の19人の子どもたちと農業関係者など7人が参加し、本市からはコウノトリKIDSクラブ会員、奥

小野区子ども会、農業関係者などが参加、総勢約50人が結集しました。

ビオトープ水田で生きものを探していた子どもたちは、暑さにつられ、次第に川へ。希少種アカザ(ナマズ)の仲間をはじめとするたくさんのお魚たちに歓声を上げていました。

食事の準備などの



▲猛暑の中、川で生きものを探す元気な子どもたち

「マイナス1歳(産前)からの子育て支援事業」
「マタニティママ&ベビーフェスティバル」開催

9月5日、「マタニティママ&ベビーフェスティバル」を豊岡市民プラザなどで開催しました。

これは、妊娠期からの子育て支援を行うことにより、その後の子育て不安の解消や乳幼児期から就学前までの家庭教育力の向上を目指し、親育つたものです。

豊岡市民プラザほっとステ

ージでは、ミニコンサートを開き、保健師、栄養士、歯科衛生士、助産師、保育士それぞれの相談コーナーや5・5キログラムのものをお腹に付ける妊婦体験コーナーを設置しました。

また、子育て総合センターでは、ベビーマッサージやマタニティヨガなどの指導を行いました。

市は、今後も各地域の子育

てセンターなどで各種事業を展開し、子育て・親育つを推進します。



▲ベビーマッサージは、赤ちゃんの心身の発達に大きく貢献

中貝市長の徒然日記 ㊦

命のリレー

事故は、8月29日午前10時24分に起きました。神鍋マラソン・ハーフの15キロメートル付近で1人のランナーが突然倒れました。意識がモウロウとしていきます。近くにいた保健師と職員が連絡を受けて現場に急行。状況判断から、但馬ドームに待機している救急車に出勤を要請。

救急救命士はマラソンコースの4カ所に配置していましたが、救命士は、救急車とは別に、事故の連絡と同時にAEDを持って直ちにバイクで出勤。事故発見から7分後に現場に到着。患者はすでに心肺停止の状態でした。電気ショック1回で心拍再開。「いける！」同時にドクターヘリの出動を要請。10時35分、救急車が到着、酸素吸入。救急車で、ヘリとの接続場所である西気小学校のグラウンドに患者を搬送。

事故発生から24分後、ドクターヘリ到着。救命士から医師へ患者の状況を報告。「必ず

社会復帰させるぞ！」医師・看護師による緊急の手当て。患者をヘリで豊岡病院に搬送。待ち構えていた医師らによって、緊急手術。

患者は、無事、一命を取り留めました。2日後、ICUから退院。3日後、ドクターヘリで居住地の病院へ転院。後遺症の心配ありません。

実に見事なリレーでした。ドクターヘリは、単に医師と看護師を乗せたヘリコプターではありません。それは、地元の救急や地域社会、病院も含めた命のリレーのシステムにはかなりません。

このシステムは、地域の安全・安心を高め、私たちの地域の魅力を向上させます。余談ですが、わが消防も頑張っています。過日の全国消防救助技術大会のロープ応用登はん訓練の部では、堂々3位に輝いています。

今回の顛末を聞いて、自分の地域を誇らしく感じました。

